



思考停止でおかしなことが・・・

十九号で新幹線が

十九号台風で北陸新幹線十編成が水没。

列車を高架の線路に移せば水没は免れた筈。しかし、移動には手続きが必要で、出来なかつたそうだ。

想定外の台風。自分の頭で考え手続きを省いて決断する人はいなかつたのか。

3・11の大川小

石巻市の大川小学校では北上川の近くの少し高いだけの三角地帯目指して避難。津波に呑まれた。学校の裏山に登れば助かつたと思うが「大地震の直後だから裏山へ避難すべき」と行動する人はいなかつたのか？

性暴力事件では

民事裁判で山口敬之

氏の伊藤詩織さんへの性暴力が認定され詩織さんが勝訴。

刑事事件では逮捕状を持ち成田で山口氏の帰国を待ち構えていた捜査員に上部から見送りの指示。事件を担当した警察官が詩織さんに語っている。山口氏は安倍首相をよいしよした伝記の著者。安倍氏ラインで指示が出たのは想像に難くない。「こんな指示は違法だ」と指示を暴露し跳ね返す人がいなかつたのか？

思考停止になつて

ここで挙げた事件に共通なのは、マニュアルとか上司の指示が思考停止にさせていること。その結果、命が失われ、アベ政権が続いているのでは？
あなたはどう思われますか？

上富良野開拓記念館

北海道空知郡上富良野町

二〇一九年六月



この絵は2019年6月に描きました

上富良野は十勝岳の西斜面にある。すすきや茅の原野であった。一八九七年(明治三十年)三重県から田中常次郎らが入植。しかし、一九二六年(大正十五年)十勝岳が爆発。

富良野はアイヌ語の「フーライヌイ」(おおう炎の意)に由来するといふ。十勝岳など富良野火山群の一隅にあつた訳だ。

噴火による泥流で八平方キロの田畑が埋まり、一四四人が亡くなつた。

当時の村民の苦労は三浦綾子が小説「泥流地帯」に著している。離村か復興か村が二分する中、村長吉田貞次郎は復興を決意。数年で田畑を復興したといふ。

当時の吉田貞次郎の住宅が解体復元され、この上富良野開拓記念館となった。

